

## 2020年度 独創的研究助成費 実績報告書

2021年 2月16日

報告者	学科名	造形デザイン学科	職名	助教	氏名	岡本 汐加
研究課題	縮緬生地を用いたテキスタイルデザインの研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	岡本 汐加	助教	テキスタイルデザイン	計画・実施・報告	
	分担者	なし				
研究実績の概要	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>本研究は、既存の織物である縮緬生地を用いて新たなテキスタイルデザインを提案することを目的とするものである。臼井織物株式会社による協力をうけ、生産過程で破棄されるポリエステル縮緬の生機（精錬前の生地）に対してレーザーカット加工を用いて実験制作を重ねた。染色されるパターンとカットされるパターンの組み合わせが、生地の見た目を大いに変化させるために重要な要因であることがわかった。加えて、縮緬生地の織られ方・素材等の種類別に効果を比較することによって、効果的かつ安定的な形状変化を得られないタイプの生地があることも明らかになった。本研究により導かれた生地の加工方法は、技法の組み合わせや順序を踏襲すればマニュアル化することが可能であり、破棄される運命にある生地を新たな形へとアップサイクルする手法のひとつとして、製織業者へ提供できるのではないかと考える。</p> <p>成果発表として、国内外のデザイナーが出展した丹後縮緬300周年を記念する展覧会へ参加し、広く成果を公にすることができただけでなく、アイデアや技術の共有が旺盛に行われた。本研究による一連のテキスタイルデザインはRed Dot: Design Conceptに選出された。年鑑への掲載と、制作物の1点を寄贈、現地の美術館にて展示された。</p>					

※ 次ページに続く

研究実績  
の概要

・成果発表 参加展示等一覧

1. 作品寄贈・展示、「A Preview Of The Future」(写真1)  
 会期：2020年10月8日-1月31日 会場：Red Dot Design Museum Singapore  
 およびRed Dot Design Concept ホームページ 選出作品一覧：  
<https://www.red-dot.org/project/sensory-pleasure-48501>
2. 作品展示、東京展「伝統への現代デザインの応答—丹後ちりめん300周年に向けて」  
 会期：2020年10月31日 - 12月27日 (写真2)  
 会場：KYOTO Design Lab 東京ギャラリー (アーツ千代田 3331)  
<https://www.d-lab.kit.ac.jp/events/2020/alternative-futures/>  
 京都展「伝統への現代デザインの応答—丹後ちりめん300周年に向けて」  
 会期：2021年1月8日-10日 会場：堀川御池ギャラリー  
 2021年1月9日 セミナーにて制作背景の説明(遠隔・動画の録画再生)  
 丹後展「伝統への現代デザインの応答—丹後ちりめん300周年に向けて」  
 会期：2021年2月10日 - 12日 会場：京都府織物・機械金属振興センター  
 2021年2月10日 セミナーにて制作背景の説明(遠隔・Zoom および youtube 配信)
3. 口頭発表、令和2年度繊維機械学会中国支部研究及び事例発表会  
 日時：2020年12月18日 会場：岡山県立図書館
4. 新聞掲載、2020年5月21日、近畿経済新聞(写真3)
5. 新聞掲載、2020年12月1日、織研新聞(写真4)



(写真1) by red dot design museum



(写真2) by KYOTO D-Lab / Masaharu Okuda



(写真3)



(写真4)

成果資料目録